

PS 通信

平成24年 春号

発行 平成24年3月7日

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

<http://ps-kaigi.net>

四季のたより

不思議な昆虫・その生きざまを見てみよう

会長 高橋 匡司

日頃は、環境まちづくり活動にご協力・ご支援いただきましてありがとうございます。

今回は、丘陵地で身近に見られる昆虫の二つをご紹介します。

小枝の先にぶら下がっている大型のミノムシ(ガの仲間;写真1)は、ハエの一種が幼虫を食べるために激減していました。最近、そのハエを食べて育つ小型のハチが新たに現れてきています。天敵の天敵が出現したことによってオオミノガは、再び冬を代表する風物詩として復活したのです。

この幼虫は、秋も深まるとミノを枝などにしっかりと止め、春になるのを待ってさなぎになり、初夏に親になります。オスは、ミノを破って外に飛びだし結婚相手を探します。昆虫なのに足も羽もないメスは、一生ミノの中で暮らします。

一方、クロテンフユシャクというガの仲間は、同じ場所にすみながらも初冬のころ親になるグループと2月ごろに親になるグループがいることが知られていました。

最近、その原因が気温0 以下になるのを避けるためであること、しかも別種に分かれつつあることが京大の研究で明らかになりました。子孫をより多く残そうとして別種への道に進化しているとのことです。

この不思議な生きざまの二つの昆虫は、市内の丘陵地の散策路でも身近に見られます。観察してみてください。



写真1



写真2

【写真1】 オオミノガ

【写真2】 初冬のガの仲間



『我が社の取組』

事業者会員 パナソニックエコシステムズ(株)

パナソニックエコシステムズグループは、環境を基軸に『空気質 (IAQ)分野』と『環境エンジニアリング分野』に取り組んでおります。この度、創業100周年の2018年に向けて、“春日井から、『人と地球に優しい環境』の実現を目指し、この取組みを『エコアイデア宣言』として発信いたしました。

式典に来賓としてご出席いただいた春日井市の伊藤太市長様からは、「春日井市は、1998年に環境都市宣言を行い、地道な活動にも積極的に取り組んできた。春日井市としても、企業と一緒に、環境活動をさらに進めていく」旨のお言葉を頂戴いたしました。

【お問い合わせ先】

ホームページURL : <http://panasonic.co.jp/es/peses/>



IAQ (Indoor Air Quality) : 健康に影響を及ぼす可能性のある環境因子を含めた建物内の空気質。

新任の挨拶

王子製紙株式会社 春日井工場 環境管理室 日比野 雄志

この度、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議の運営委員として新しく参加させていただくことになりました。私は、当工場の環境管理全般を担当しておりますが、今後、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議を通じて皆様との繋がりを深めていきたいと思っております。

当工場はさまざまな活動を通じての社会貢献向上を目指しております。例えば、地域の皆様や行政の方々と一緒に生活環境を良くしていく活動であるグランドワークでは使用済みの割り箸の紙原料へのリサイクル活動や庄内川アダプト活動への参加を行っております。また、皆様とのふれあいの場として当工場社宅地区に「王子バラ園」も提供しており、定番の真紅をはじめ鮮やかな黄、可憐なピンクなど世界中の美しいバラが260種、1,800本以上ございますので、ぜひお越しください。



資源循環かすがい市民の会

グループリーダー 広川 雄三

落ち葉から腐葉土、堆肥を作る方法をご紹介します。秋になると市民の方々が街路樹の落ち葉の処分に困り果てて、質問をよく受けます。県及び市では屋外燃焼行為を禁止する条例もあり、また燃焼させると火災と疑われます。

一番簡単な方法としてネット袋を使い、落ち葉を集めてギュウギュウ詰めにして、袋の口を閉め、ビシャビシャになるまで水をかけるか、雨水に浸し、これを俵積みしょうづみにして水分を切らさないようビニールシートを上部にかけ、定期的に如雨露等で水分供給を行いながら寝かせておくと、一年程度で腐葉土が出来あがります。



環境調査グループ なずなの会

グループリーダー 梶田 美登里

今住んでいる春日井市の環境を知りたいとの思いから、なずなの会の結成(昭和63年12月)以来、環境問題に関わってきました。最初はゴミに関する事。平成2年からは、市内12河川の水質環境調査を年1回行ってきました。公共下水道が完備されている地域では、以前より水質が良くなっています。また、市内4地点で毎降雨時に雨の酸性度(pH)測定をしています。pHとは水素イオン濃度を表し、「純水」はpH7の中性で、pH5.6以下の雨は酸性雨です。測定の結果、春日井市に降る雨は平均で95%が酸性雨と言えます。平成7年からは大気汚染調査(二酸化窒素NO₂)濃度を調べています。会員の住んでいる地域18ヶ所の調査では、交通量の多い地点で値が高くなっています。春日井市では西高東低の結果が出ています。

今日まで継続してこれたのは会員の気力と熱意があったからと思います。昨年12月16日、環境省水大気環境局長より表彰状を戴きました。これからも環境調査はなずなの会が存在する限り続けていきたいと思っています。調査結果は毎年行われる消費生活展で発表いたします。



みどりのまちづくりグループ

グループリーダー 川津 正和

今年も昨年と同様、毎週の火曜日と金曜日(癒しの花壇は第2、4月曜日)を定例活動日として、「みろくの森」から「道風ゆかりの里」までの各地域で、次の活動を行って行きます。

みろくの森ドングリ植樹と育樹活動、癒しの花壇活動、癒しの森づくり活動、頓明公園アオダモ植樹と育樹活動、頓明公園の管理・清掃、頓明公園ドングリ植樹と育樹活動、大谷川植樹と育樹活動、大谷川・内津川クリーン作戦、大谷川・内津川・庄内川の水質調査、親水空間づくり、稲づくり、庄内川のアダプト活動、水辺のみどりの楽園づくり、シデコブシ保全と調査、竹炭焼き、間伐支援隊活動、間伐材利活用、学習会、活動参加者へエコポイントの提供、それに本年から新たなプロジェクト「みどりの森づくり活動」を開始しました。

各活動への参加は、参加者の自主的な自由参加となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしています。(昨年の事例：右記の写真を参照)

尚、各活動の詳細は、ホームページ「みどりのまちづくりグループ」で公開していますのでご確認下さいませようお願いします。

(<http://www.ps-kaigi.net/midori>)



中日新聞に昨年も沢山掲載して戴き市内外に発信できました。



年間7トンのゴミ拾い、延べ130,000㎡の草刈りを行なっています。平成22年には、全国森林美化コンクールで林野庁長官賞受賞

活動報告 ～自主イベント「みんなで行こうエコツアー！」～

11月9日(水)にエコツアーとして、西尾市に自生している塩性植物と岡崎市中央クリーンセンターへ見学に行き、約30名の方が参加されました。

塩性植物とは、普通の植物では枯れてしまうような干潟、海岸、塩田を埋めた土地など、土の中に多くの塩分が含まれた土壌でも育つ珍しい植物です。

岡崎市のクリーンセンターは今年6月に完成したばかりで、新技術「ガス化溶解炉」の採用により、ごみを溶かした灰を資源物として再資源化するなど環境にやさしい技術を導入しています。

参加された方は、熱心に説明を聞かれ、積極的に質問もされていました。「塩性植物のことを初めて知った」、「一人では出かけられない所が見学できた」などの感想もいただき、いろいろと環境について学んだ一日となりました。



活動報告 ～自主イベント講演会「山岳環境の保護と保全 一登山家からの提言」～



11月26日(土)に登山と環境問題の関わりについて学ぶ講演会をレディヤンかすがいにおいて開催し、約90名と多くの方が参加されました。

講師には、日本において初めて設立した山岳クラブであり、日本各地での自然保護活動や自然エネルギー利用の研究などを行っている(社)日本山岳会の尾上昇会長をお招きしました。

近年の登山ブームや、山小屋やトイレの整備が不十分なこと、高山植物荒らしや不法投棄が問題になっていることなどを話された後、私案として、入山料の徴収や環境行政の一本化などの提案をされました。

参加者からは「自然保護のあり方の難しさを知った」、「自然環境の保護と保全について考えさせられた」などの感想をいただきました。

活動報告 ～「子ども環境シンポジウム」～

1月28日(土)に北城小学校、春日井小学校、東高森台小学校、篠原小学校の児童の皆さんが、身近な環境調査の調査結果として、日ごろ行っている環境学習や活動の成果について発表する「子ども環境シンポジウム」がエコメッセで開催され、当会議の高橋会長と梶田副会長がアドバイザーとして参加しました。

どの学校も、自分たちで調べたことがよくまとめられており、大変すばらしい発表でした。

また、発表終了後は県もりの学舎インタープリターによる自然のものを使った遊びを考え、周りの人に体験してもらう環境講座が行われ、子どもたちは楽しそうに参加していました。



活動報告～プロジェクトWET 講習会～

2月10日（金）にレディヤンかすがいで「プロジェクトWET 講習会」が行われ、PS会議の会員15人が参加しました。プロジェクトWETとは、幼稚園から高校までのこどもが水について楽しく体験しながら学べるように開発された教育者のためのプログラムとツールであり今後の水に関する環境学習を行える人材の育成を図る目的で開催しました。（財）河川環境管理財団の小野正雄氏が講師を務め、水の利用や河川、地下水など水に関するさまざまなアクティビティを実際に体験しました。



写真で振り返る23年度



わいわいカーニバル（5/15）
エコワールド（10/15,16）

庄内川アダプト事業（8/20）
エコツアー（11/9）

会員募集中！！

当会議は市民、事業者、市の三者協働による環境まちづくりを推進する組織として、平成14年12月に設立しました。今回寄稿された団体の他、いろいろな団体が活動しています。

現在会員を募集中！私たちと一緒に環境まちづくりに取り組みませんか？

問い合わせ 申込み

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議（事務局：春日井市役所 環境政策課内）

電話：0568 - 85 - 6216 FAX：0568 - 84 - 8731 Eメール：kansei@city.kasugai.lg.jp